

公共交通及びコミュニティ交通に関する勉強会

第4回

令和7年6月30日

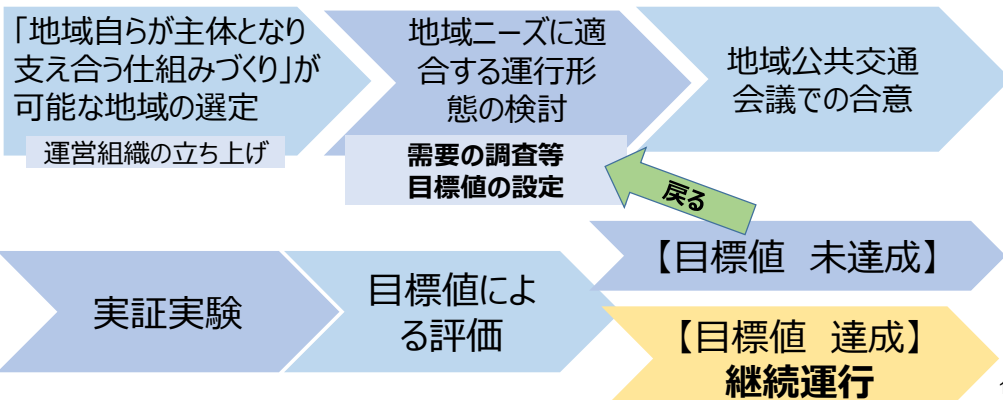
厚木市 都市みらい部 都市計画課

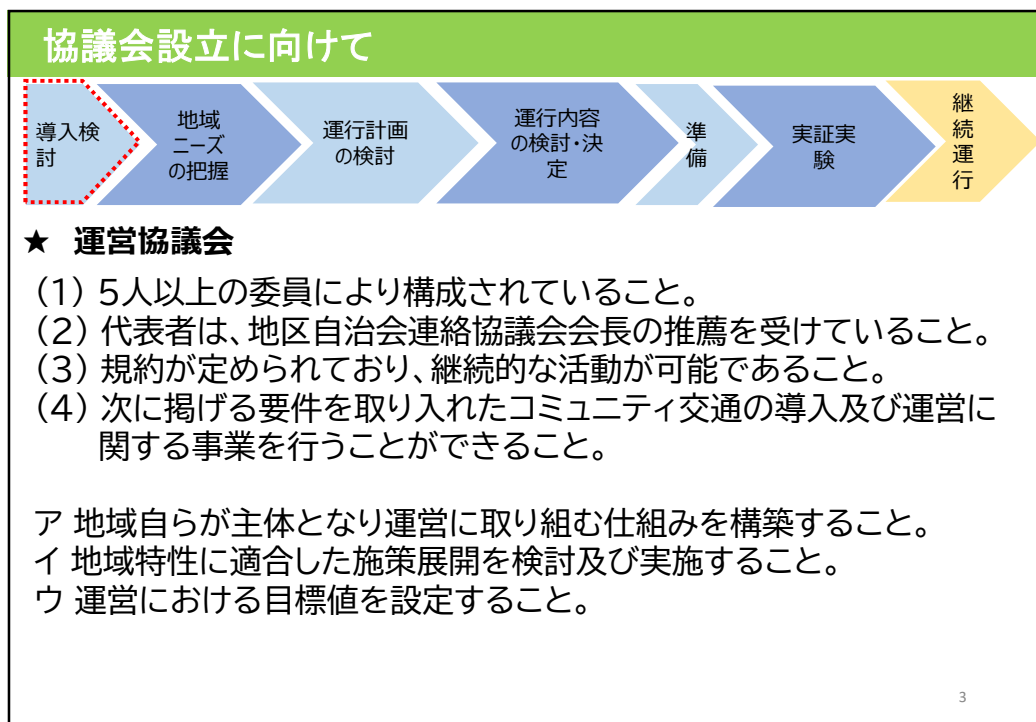
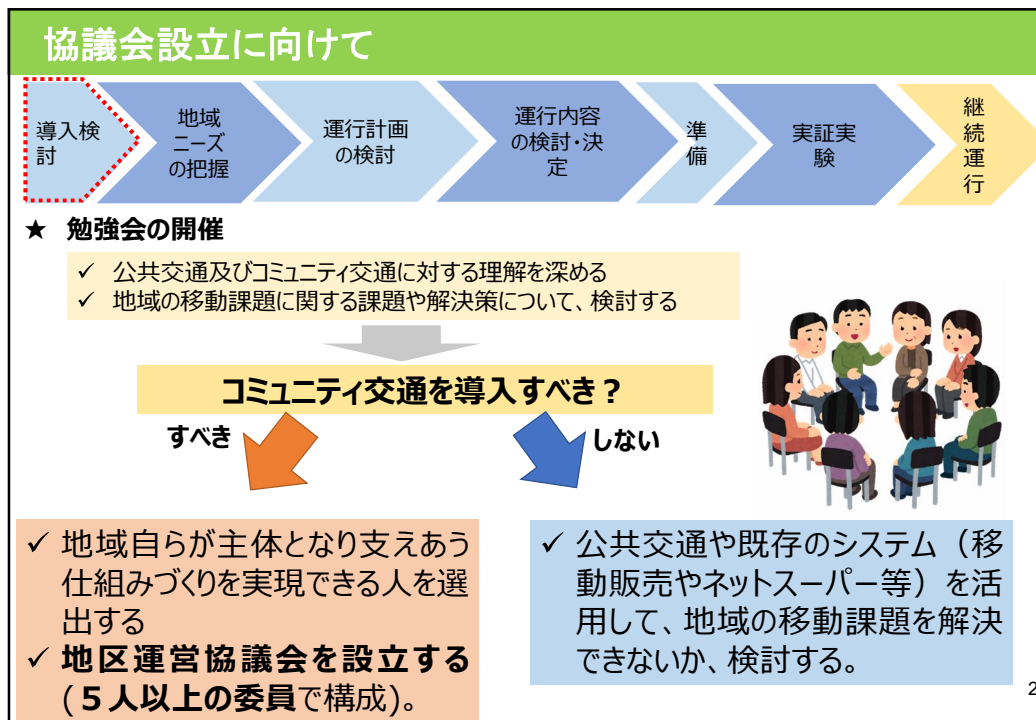


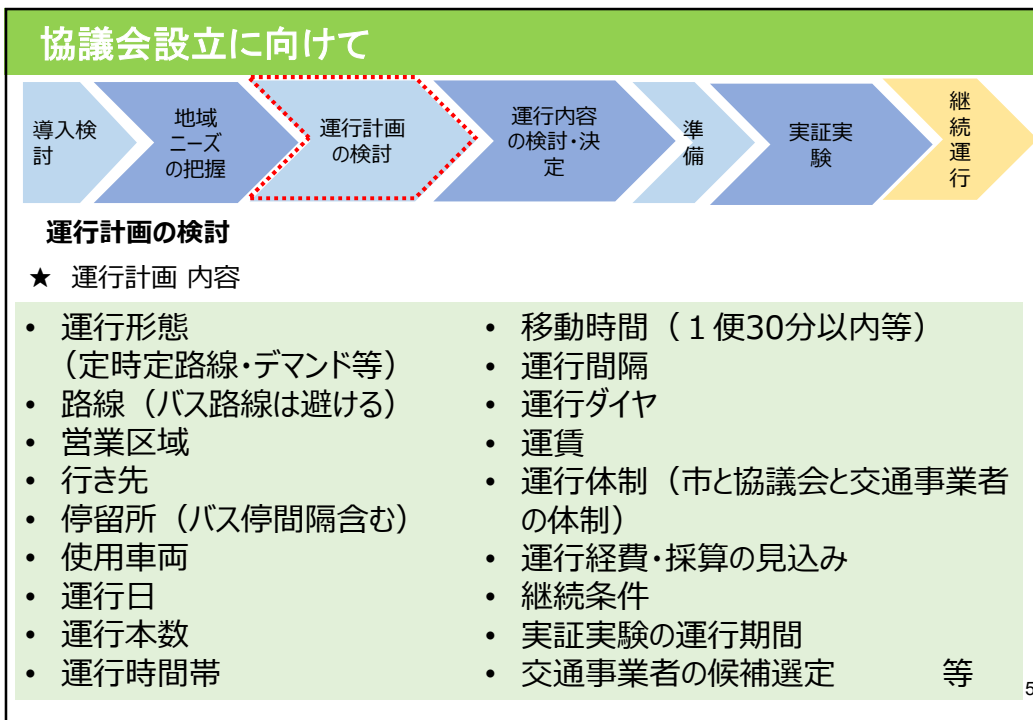
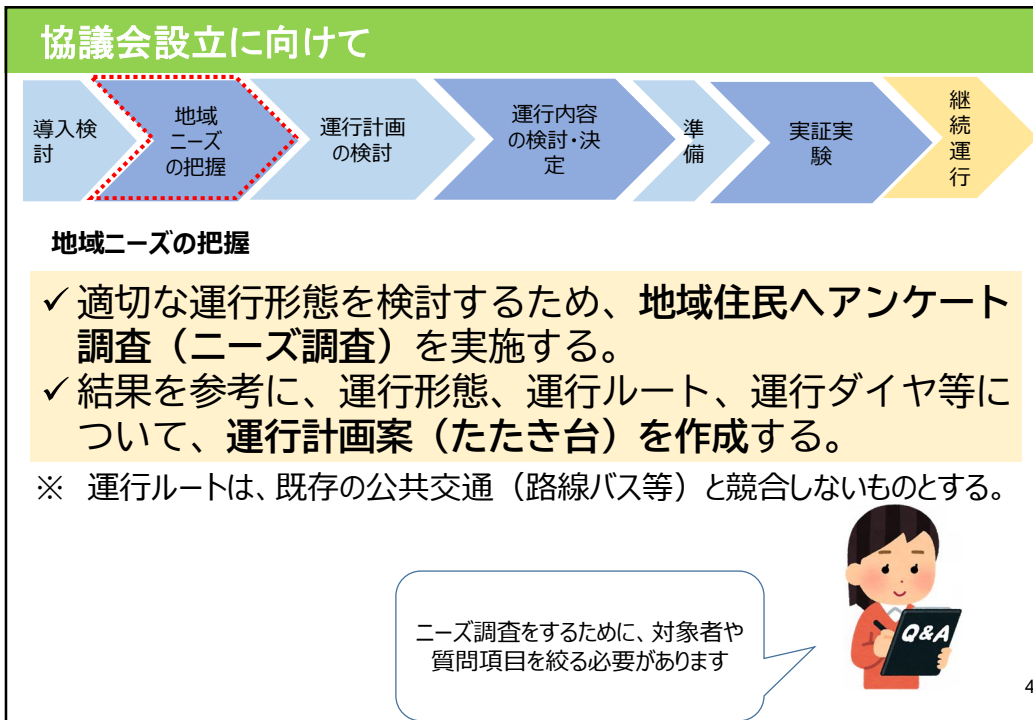
協議会設立に向けて

◆ コミュニティ交通導入に向けた流れ

- 地域特性に応じた移動手段を検討するには、**地域自らが主体となり、取り組んでいくことが重要**となります。
- コミュニティ交通を導入することとなった場合、大きく分けて6つの項目をクリアする必要があります。







協議会設立に向けて



運行内容の検討・決定

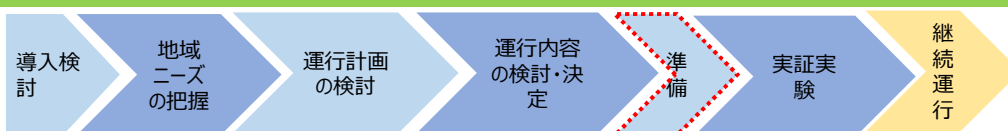
- ✓ 運行ルート（エリア）の**全自治会長**の合意を得る。
- ✓ **道路管理者（行政）、交通管理者（警察）、関係交通事業者等**と、運行計画案について協議し合意を得る。
- ✓ 運行ルート（エリア）、停留所（アクセスポイント）の設置について、関係する**土地所有者等の管理者**の承諾を得る。
- ✓ 運行計画に対する、**コミュニティ交通の利用意向の有無を調査**する。（ニーズ調査）
- ✓ 運行内容を評価するための**目標値**を検討する。



厚木市地域公共交通会議において、関係者から合意を得る。

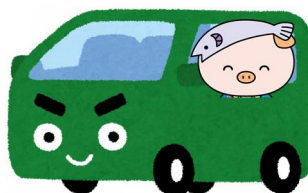
6

協議会設立に向けて

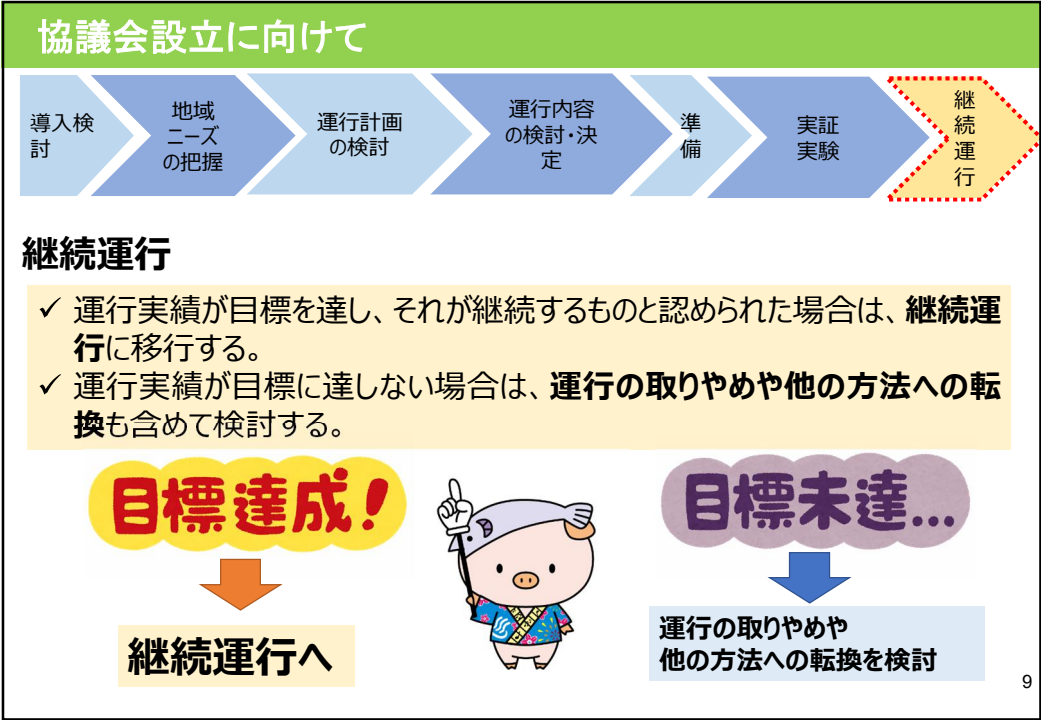
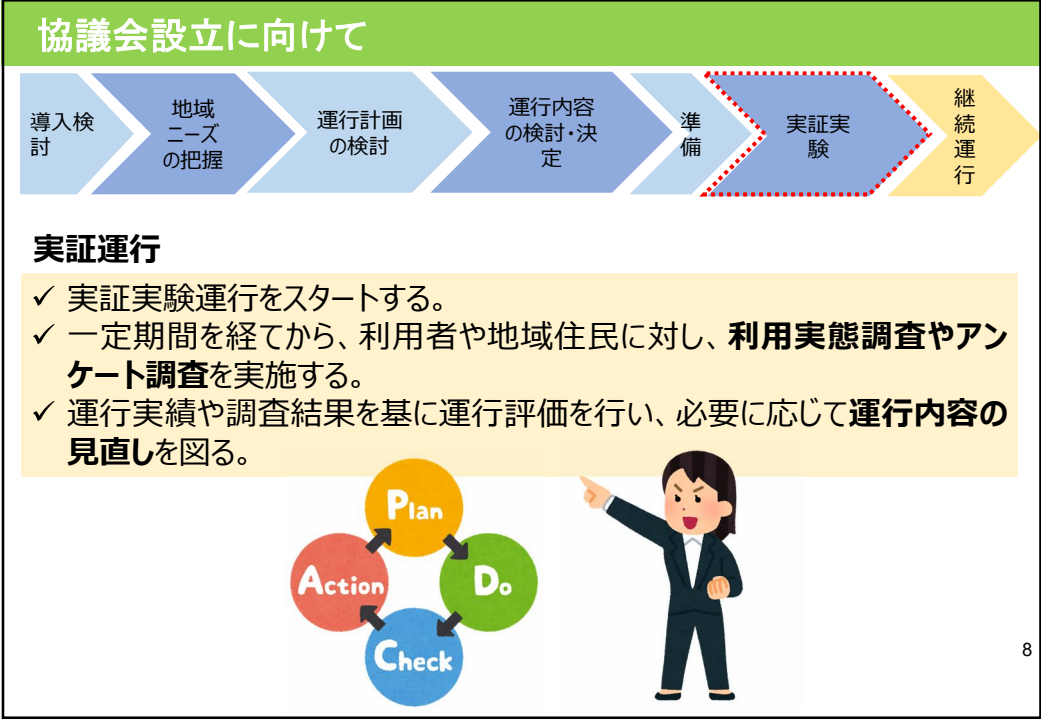


実証運行準備

- ✓ 地域組織と市が協働して、**運行に必要な設備の手配**を行う。
（事業者の選定、事業許可申請、停留所（アクセスポイント）の設置、車両等設備の手配等）
- ✓ 地域住民へ運行を周知するための**PR活動**を行う。



7



ご清聴ありがとうございました

